

SF 地震学国際ワークショップに参加して

マサチューセッツ工科大学地球大気惑星科学科
博士課程 2 年生 土山 絢子

2022 年 9 月に奈良県で開催された「Slow-to-Fast 地震学」に関する国際ワークショップに参加しました。私の所属する米国マサチューセッツ工科大学からは 5 名の博士学生が現地参加し、それぞれ多くの研究者と充実した議論を行うことができました。また、3 日間というスケジュールの中で専門的な話題のみならず、現在の日本のアカデミアにおける研究環境面での課題について、日本国内外の参加者と建設的な議論をする機会が得られたことも大きな収穫となりました。

普段は地震学分野の研究者との議論が多い中で、実験を専門手法とする研究者や地質学的なアプローチをとる研究者と深く議論することができたのは、本ワークショップでしか得られない貴重な経験だったと思います。私に取り組んでいるやや深発地震は、沈み込み帯浅部の領域で発生するスロー地震とは異なる地震活動として分類されることが多いですが、地震のメカニズムの本質を理解する上ではどちらも欠かせない現象だと個人的には感じています。今回、沈み込み帯で発生する地震活動の包括的な理解を目標とした「Slow-to-Fast 地震学」のワークショップに参加できたことで、地球深部の地震活動のメカニズムを普段とは異なる視点から考察することができました。ポスターセッションで議論をする中で、新しい共同研究のアイデアも得られたので、博士 3 年次以降に日米共同研究の発足を目指してこれからも日々の研究活動に精進していきたいと思います。今回のワークショップへの旅費をご支援いただき本当にありがとうございました。

